大阪商業大学学術情報リポジトリ

EASS 2022 Health Module の作成

メタデータ	言語: ja 出版者: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学JGSS研究センター 公開日: 2022-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://ouc.repo.nii.ac.jp/records/1262

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

EASS 2020 Health Module の作成

吉野 智美
大阪商業大学 JGSS 研究センター

岩井紀子
大阪商業大学総合経営学部

Development of the EASS 2020 Health Module

Satomi YOSHINO
JGSS Research Center
Osaka University of Commerce

Noriko IWAI
Faculty of Business Administration
Osaka University of Commerce

This article summarizes the development of the 2020 East Asian Social Survey (EASS) Health Module questionnaire. The 2020 health module is intended to capture changes in 10 years since the 2010 Health Module. In developing the questionnaire, the EASS teams faced challenges in balancing continuity for data comparability and change for revising the questionnaire and improving the quality of data to be collected. EASS teams searched for studies and articles, which use the EASS 2010 data to understand usability of variables in the dataset. After various discussion among the EASS teams, some questions from the EASS 2010 module were dropped as they were not utilized well in data analyses. New questions such as sitting behavior, time and quality of sleeping, eye sight, and meaning and health were added as new questions for the 2020 Health Module.

Key Words: EASS, JGSS, Health module

本稿では、East Asian Social Survey（EASS）2020 健康モジュールの調査票作成の過程について、EASS 2010 健康モジュールからの変更点を中心に記述する。EASS 2020 健康モジュールは、EASS 2010 健康モジュールの 10 年後をとらえることを主な目的としている。調査票の作成にあたっては、EASS 2010 と比較可能なデータを作成するための継続性と、データを改善するために設問を修正することを同時に考慮する必要があった。EASS 2010 のデータを基にした論文を調査して、各チーム内とチーム間による議論を重ねた結果、EASS 2010 の調査票から利用頻度が低い設問や、必要ないと判断された設問を削除し、座位行動、睡眠時間、視力と健康に対する考えなどの設問を追加して、調査票を確定した。

キーワード：JGSS、EASS、健康モジュール、COVID-19

1. はじめに

East Asian Social Survey (EASS)は、日本・韓国・中国・台湾の 4 チームが 2003 年にスタートした東アジア社会調査プロジェクトである。東アジアの人々の意識と行動についての比較分析を目的として、東アジアの社会に特有な問題や関心に基づいて共通のモジュールを設定し、2006 年から 2 年に 1 度継続的に調査を実施し、これまでに計 7 回の調査が行われている。

第 8 回目の調査となる EASS 2020 のテーマは、「EASS 2010 東アジアにおける健康と社会」の 10 年後をとらえる「EASS 2020 東アジアにおける健康と社会」である。EASS 2020 Health Module（以下、 健康モジュールと表記）は、2018 年 10 月にテーマを決定し、EASS 2010 健康モジュールの見直しや新たに追加する設問の候補についての検討と議論を経て、2020 年 10 月に調査票が確定した。本稿では、EASS 2020 健康モジュールの作成過程と経緯について、EASS 2010 健康モジュールからの変更点を中心に記述する。EASS のモジュール作成の原則や手順については、榎木（2008）に詳細がまとめられている。次節では、健康モジュール作成の過程で JGSS が行った準備作業と EASS の 4 チームによる議論を整理し、第 3 節、第 4 節では、それぞれ EASS 2010 健康モジュールからの修正点と新たに追加された設問について記述する。

2. 2020 健康モジュール決定までの過程

EASS 2020 健康モジュール作成のスケジュールは、表 1 のとおりである。2018 年 10 月の大阪会議で、EASS 2020 のテーマを「EASS 2010 東アジアにおける健康と社会」の 10 年後をとらえる「EASS 2020 東アジアにおける健康と社会」に決定した。その後、各チーム内で検討したうえで、4 チームによる会議を北京と大阪で開催し、メールによるチーム間のやりとりを重ねて、2020 年 10 月に健康モジュールを確定した。

表1　EASS 2020健康モジュール作成と実施のスケジュール

日程	実施主体（開催地）	内容
2018年10月	EASS GM	EASS 2020のテーマを決定
2019年4月末～7月1日	JGSS運営委員会	EASS 2020の研究課題を一般公募
	JGSS運営委員会	研究課題の審査とEASS 2010健康モジュールの確認
2019年8月	EASS DGM(北京)	EASS 2010健康モジュールの修正点と新規設問の議論
2019年12月	EASS 各チーム	議長に各チームの提案の詳細を提出
2020年1月	EASS DGM(大阪)	2010健康モジュールの設問の確認、修正、新規設問の作成
2020年1月24日	議長	各チームへ調査票（暫定版）の送付
2020年1月25日	KGSS	調査票（暫定版）の確定に合意
2020年1月26日	TSCS	Optional設問（Health literacyとAge discrimination）について追加の依頼
2020年1月26日	CGSS	新型コロナウィルス発生の状況を鑑みてepidemic diseaseについて継続してはどうかとの提案
2020年2月2日	議長	Optional設問とコロナウィルスに関する設問を追加した修正版を送付
2020年2月17日	KGSS	睡眠時間の設問についての微調整の提案（時間について分まで聞く、スケールの文言の修正）
2020年2月18日	議長	各チームにKGSSの提案を反映した修正版を送付
2020年4月	EASS	COVID-19に関する設問の追加について検討
2020年4月～7月31日	JGSS運営委員会	COVID-19に関する研究課題を公募
2020年8月	JGSS運営委員会	研究課題の審査とCOVID-19に関する設問の確定
2020年9月	EASS	調査票の最終調整
2020年10月2日	議長	EASS健康モジュール調査票の確定版を各チームに送付
2021年1月~2月	JGSS	JGSS-2021（B票にEASS 2020）実施：全国440地点3300人
2021年6月~12月	TSCS,KGSS,CGSS	EASS 2020を含む全国調査実施予定

JGSS では 2019 年 4 月末から 7 月 1 日まで、健康モジュールに関する研究課題を公募した。公募は JGSS のホームページや関連学会のホームページ、ニュースレターとメールマガジンを通して行い、JGSS 研究センターの運営委員会による書類審査を経て、「睡眠に刻みこまれたジェンダー格差と経済格差」と「主観的貧困とアタッチメント、メンタルヘルスに関する国際比較」の 2 件の研究課題が、新規設問の候補として採択された。JGSS チームは、研究課題の公募と同時に、EASS 2010 健康モジュールの設問の見直しを行った。運営委員会からは、身体活動、近隣環境やインフルエンザなどに関する設問について、改善が必要であると指摘された。

2019 年 8 月に第 1 回目の健康モジュール検討会議が北京で開催され、EASS 2010 健康モジュール作成時に EASS 事務局を担当した JGSS（センター長岩井紀子）が、EASS 2020 健康モジュールの事務局と議長を担うことが決まった。その後、EASS の各チームがそれぞれ新規設問のアイデアと EASS 2010 の改善点について提案し、4 チームで意見交換を行った。JGSS は採択された研究課題 2 件と運営委員会から指摘があった設問の修正について提案した。2 件の研究課題のうち、睡眠については新規設問として採用となり、身体活動の設問についても JGSS の提案どおりに修正することになった。各チームからの提案とその後の議論をたたき台として、次回のモジュール検討会議（2020 年 1 月予定）までに各チームでさらに詳細を詰めて、その内容を E メールで他のチームと共有することを決めた。

2020 年 1 月に大阪で第 2 回目の健康モジュール検討会議が開催され、2019 年 12 月末までに 4 チームから示された提案に基づいて、EASS 2010 のモジュールを設問ごとに確認した。それぞれの設問について、EASS 2020 のモジュールにそのまま残すか、修正が必要か、削除するかを決定した後、新たに追加する設問について議論した。EASS は４つの国と地域で実施されている総合的社会調査に、共通モジュールを組み込む形で実施しているため、モジュールは原則として 60 問程度と決められている（榎木 2008）。そのため、EASS 2020 健康モジュールに新たに設問を追加するためには、EASS 2010 のモジュールの設問を削除して、スペースを確保する必要があった。

EASS 2010 からの変更点は表 2 のとおりである。削除する設問については、各チームが EASS 2010 のデータを基にした論文などを調べて、利用頻度が低い設問、分析に使いにくい設問や必要ないと判断した設

表2　EASS 2010健康モジュール からの変更点

A Health Status			**G Environment**		
A-1	主観的健康	選択肢の訳の修正*	G-1	近隣の環境状況	選択肢の追加**
A-13	絶望感（将来）	削除	**H Epidemiology**		
A-14	絶望感（目標達成）	削除	H-2	新型インフルエンザに対する不安	設問の変更（新型コロナ）
A-16	慢性疾患、長期的な健康問題	選択肢を修正・追加	**K Addiction**		
B Health Behavior			K-1	耽溺行動	種類の変更
B-1	喫煙状況（頻度）	喫煙状況（経験）1問に	K-2	同居者の耽溺行動	削除
B-2	喫煙状況（年数）		**L Body Shape (JGSS とKGSSのみ)**		
B-4	身体活動（1日の平均）	設問の修正・追加	L-1	体重について	削除
E Alternative Medicine			L-2	体型について	削除
E-1	代替医療	種類の修正・追加	**新規設問**		
F Social Support/Social Trust			座位時間		
F-1	家族・親類からのサポート	情緒的支援の有無、情緒的支援の提供者の2問に変更	睡眠時間、質		
F-2	友人からのサポート		視力		
F-3	専門家によるサポート		健康に対する考え		

*JGSS,CGSS,KGSSの翻訳を修正

**CGSS,KGSS, TSCSが日照被害を追加

問を削除した。設問の修正については、EASS 2010 健康モジュールの問題点や 2010 年以降の関連分野での研究結果などを踏まえて検討した。新規設問については、とくにモジュールの作成において共通言語としている英語から各言語へ翻訳する際のズレに注意して、細かいニュアンスを含めて確認することに時間をかけた。設問の修正と新規設問の作成に関する議論については、次節で設問ごとに詳しく説明する。

大阪会議での議論の内容を整理して作成した調査票の暫定版を、2020 年 1 月 24 日に議長の岩井から各チームに送付し、各チームからのコメントを受けて、2020 年 2 月 18 日に調査票の暫定版が確定した。その後、2020 年 4 月に入り COVID-19 の流行の状況に鑑みて、COVID-19 に関する設問群を追加した方がよいのではないかという議論が起こり、各チームは追加の設問について検討し始めた。JGSS は 2020 年 4 月初旬から、JGSS のホームページや関連学会を通じて COVID-19 に関する研究課題を公募した（7 月 31 日締め切り）。JGSS は、感染のリスクに関する不安、感染の責任、ワクチン接種や政府の対応に関する意識、感染拡大の影響などの 9 問を、EASS 2020 健康モジュールを組み込む調査票（JGSS-2021 の B 票）に追加することを決定し（JGSS-2021 の A 票には、COVID-19 に関して 16 の設問を組み込んだ）、他の EASS チームに連絡した。最終的には、韓国チームが「感染の責任」の設問を採用したが、中国チームと台湾チームは調査票のスペースの問題から、EASS 2020 健康モジュールの共通設問として、COVID-19 についての設問群を追加することは見送った。

3. EASS 2010 健康モジュールの設問の修正

EASS 2020 健康モジュールの調査票は、EASS 2010 を基に修正されたもので、基本的な調査設計は EASS 2010 と同じである。EASS 2020 の設問については、EASS 2010 と比較可能なデータを作成して EASS 2010 の 10 年後を捉えるための継続性と、データを改善するために設問を修正することを同時に考慮する必要があった。本稿では修正された設問と新規設問のみに絞り、本節では修正の経緯について、次節では新規設問の作成についての経緯をみていく。EASS 2010 に続いて EASS 2020 にも組み込まれた設問群の由来については埴淵（2009）が詳細をまとめている。

3.1 主観的健康

EASS 2010 健康モジュールでは、健康状態を測定するツールとして、健康関連 QOL（Health related Quality of Life）の包括的な尺度である SF-36（Medical Outcomes Study 36-Item Short-Form Health Survey）の短縮版 SF-12 を利用した（Ware 他 2002）。SF-12 の中の 1 問が主観的健康感であるが、EASS 2010 では、この質問の選択肢（英語）を各チームの言語に翻訳する過程で、表 3 に示すように、4 チームの間で訳が統一されていないという問題が生じてしまった。EASS 2020 では、4 チームが英語の選択肢を改めて訳し直すことで合意した。日本版の SF-12 は、コピーライトで保護されていて、訳を変更することはできないため、主観的健康については SF-12 の日本語版とは別に、もう一問を追加することで対応した（JGSS-2021 の B 票の Q31 および Q56）。

表 3 EASS 2010 主観的健康感の選択肢

		JGSS	CGSS	KGSS	TSCS
1	Excellent	Excellent （最高によい）	Very healthy （很健康）	Very good （매우 좋다）	Excellent （非常好）
2	Very good	Very good （とても良い）	Somewhat healthy （比较健康）	Somewhat good （다소 좋다 ）	Very good （很好）
3	Good	Good （良い）	General （一般）	Neither good nor bad （좋지도 나쁘지도 않다）	Good （好）
4	Fair	Somewhat poor （あまり良くない）	Somewhat unhealthy （比较不健康）	Somewhat poor （다소 나쁘다）	Fair （普通）
5	Poor	Poor （良くない）	Very unhealthy （很不健康）	Very poor （매우 나쁘다）	Poor （不好）

3.2 慢性疾患

慢性疾患のように長期間患っている病気に関しては、EASS 2010 では 4 つの選択肢（高血圧、糖尿病、心血管疾患、呼吸器系疾患）を設け、「その他」の欄に自由に回答を書き込めるようにした。多重回答式であった。しかし、全ての国・地域で「その他」の選択が多く（日本で約 7 割、韓国と中国は約 6 割、台湾で約 4 割）、分析において使いづらいデータとなったため、EASS 2020 では選択肢を増やすことにした。健康調査で一般的に尋ねられている疾患を参考にして複数のリストが提案され、大阪会議での協議の結果、12 種類の疾患「高血圧」、「糖尿病」、「脂質異常」、「心血管疾患」、「脳卒中」、「癌」、「精神疾患」、「筋骨格系疾患（関節炎、腰痛、膝痛、関節痛、リウマチなど）」、「呼吸器疾患（喘息、肺気腫等）」、「腎臓疾患」、「肝疾患」、「消化器疾患（潰瘍など）」と「その他」を含むことで確定した。

3.3 身体活動

身体活動については、EASS 2010 では中・高強度の運動についての設問（息が切れるような運動「20 分以上」を行う頻度）の 1 問のみであった。しかし近年、日常的に繰り返される歩行や運動をしない状態の座位行動が健康と関連することが示されており、中・高強度の運動のみでは身体活動の指標としては不十分であると指摘された。そこで JGSS は、身体活動に関する標準的な設問群である International Physical Activity Questionnaire:IPAQ（IPAQ n.d.）を導入することを提案した。CGSS からも同様に身体活動の設問を修正することが提案され、北京会議で IPAQ の設問を取り入れることを決定した。

IPAQには27の設問があり、短縮版は7問であるが、EASS 2020の全体の設問数を考慮すると、7問全てを入れることはできない。単独のバッテリーとして設計されているIPAQの設問を、EASSのような総合的社会調査の一部として、設問数を減らしつつ回答者にわかりやすい設計にして、必要な情報を得るように設問を修正することが求められた。議論を重ねた結果、「少し息がはずむような」中強度の運動を1週間に行う時間の合計、平日に歩く時間の合計、さらに平日に座っている時間の合計についての3問に決定した。

3.4 インフルエンザ

インフルエンザについては、EASS 2010 では、2009 年に流行した新型インフルエンザを含むインフルエンザの予防接種を受けているかどうかと、新型インフルエンザに対する不安感についての 2 問が入っていた。大阪会議ではこの 2 問は削除することにした。その後、COVID-19 の流行に鑑みて、COVID-19 に感染することに対する不安についての設問を追加した。

3.5 その他

3.4 までは、EASS 2010 から大きな修正があった設問である。以下は比較的小さな修正を行った設問について記述する。

3.5.1 喫煙

喫煙に関しては、EASS 2010 では頻度と喫煙している（していた）期間について尋ねた。大阪会議では、頻度だけではなく喫煙の量も重要との意見が出たが、最終的には喫煙の状況（現在吸っている、以前は吸っていたがやめた、吸ったことはない）を尋ねる 1 問のみで十分との結論をえた。

3.5.2 代替医療

EASS 2010 では、代替医療について①鍼・灸、②漢方薬、③指圧・マッサージの利用の有無について尋ねていたが、EASS 2020 では「鍼」と「灸」を分けて尋ねることにした。なお、JGSS 以外の 3 チームは、EASS 2010 に引き続き、「カッピング療法」についても尋ねる。

3.5.3 ソーシャルサポート

ソーシャルサポートに関しては、EASS 2010 では情緒的サポート、経済的サポートと家事などを含む手段

的サポートの 3 種類の支援について、過去 12 ヶ月に受けたかどうかとその提供者（家族・親族、友人・同僚・近所の人、ヘルパー・介護職員など）について尋ねた。JGSS 以外の 3 チームは、支援を受けた頻度についても尋ねていた。しかしながら、詳細に尋ねた割には、分析には使いづらかったこともあり、EASS 2020 では、情緒的サポートを受けたかどうかとその提供者のみを尋ねることにした。

3.5.4 近隣環境の状況

EASS 2010 では、住んでいる地域の物理的環境について、大気汚染、水質汚染、騒音被害の 3 種類について尋ねた。JGSS は独自に日照被害についても尋ねていた。EASS 2020 では、4 チームとも日照被害を追加した 4 種類について尋ねることで合意した。

3.5.5 耽溺行動

EASS 2010 では、調査対象者およびその家族などの同居者が、飲酒、喫煙、ギャンブル、テレビゲーム・ネットゲームへの依存について尋ねた。EASS 2020 では、ギャンブルとインターネット・スマートフォン（ゲームを含む）のふたつに絞り、調査対象者が依存しているかどうかを尋ねることにした（同居者についての質問は削除）。依存の判断については EASS 2010 と同様に、まわりの人から「やりすぎている」と注意されたことがあるかどうかを基準としている。

4. EASS 2020 健康モジュールの新規設問

本節では、EASS 2020 で新たに追加された「視力」、「睡眠」、「健康に関する考え」の 3 つの設問について、それぞれが追加された意図と設問作成時の議論の中で浮かび上がった問題点を明らかにする。

4.1 視力

北京会議では、中国国内において近視の増加が大きな問題になっていることから、CGSS チームより、視力についての設問の追加が提案された。視力を尋ねることも検討されたが、国・地域によって測定単位が異なっていることや調査対象者が自分の視力を把握していない場合があることを考慮して、近視かどうかと、メガネやコンタクトレンズなどの矯正器具を装着しているかどうかの 2 問を尋ねることにした。

4.2 睡眠

睡眠に関しては、JGSS と CGSS から追加の提案があり、大阪会議において睡眠時間と睡眠の質の 2 問を追加することを決め、その内容を検討した。睡眠時間に関しては、平日と休日では睡眠時間が異なる場合があること、睡眠時間はベッドや布団に入っている時間とは違うことなどが検討された。そこで、妥当性が検証されており、国際的に利用されている睡眠の尺度である、Pittsburg Sleep Quality Index (PSQI) (Buysse 他 1989)の設問を参照して、平日の平均睡眠時間と、過去 1 ヶ月における睡眠の質についての自己評価を 4 点尺度（非常に良い、良い、悪い、非常に悪い）で尋ねることにした。

4.3 健康に関する考え

EASS 2010 には「健康」の意味や「健康」に関する考え方についての設問はなく、KGSS チームは、これらの設問を EASS 2020 に追加することを提案した。概念的な考えをとらえる設問であるため、英語から各チームの調査票の言語に翻訳をするのが難しいことが想定された。そこで、大阪会議では、英語の設問文を決定するのと同時に、日本語、韓国語ならびに中国語の文案も検討した。提案した韓国チームは問題なく韓国語に訳せたが、英語から日本語と中国語に翻訳するのは難しく、時間を要した。最終的には、韓国語から日本語と中国語に訳し、英語の原文と比較・修正する形で、英語、日本語、韓国語、中国語の設問文を完成させた。

5. おわりに

本稿では、EASS 2020 健康モジュールの作成について、EASS 2010 健康モジュールからの変更点を中心に記述している。調査票の作成では、EASS 2010 と比較可能なデータを作成するための継続性と、データの改善に向けて、設問を修正する必要性を同時に考慮する必要があった。国や地域が異なり、研究分野が異なる研究者がモジュールの修正を行うことは、多くの議論と時間を要する作業である。EASS 2010 モジュールの設計の経緯を理解しているメンバーは、継続性を尊重する傾向がある一方、新たに参加したメンバーは、新規の設問を増やしたい意向が強く、意見の調整が必要であった。モジュールの暫定版を作成した後に、COVID-19 が世界的に大流行し、COVID-19 に関する設問を健康モジュールに追加することも検討されたが、各チームの調査票のスペースの制約や調査時期の違いの問題などにより、COVID-19 に関する設問群の追加は断念せざるをえなかった。

EASS 2010 健康モジュールは、EASS の 5 種類のモジュール（Family Module, Globalization Module, Health Module, Network Social Capital Module, Work Life Module）の中で利用数が最も多いデータで、その数は 2020 年 3 月末時点で 3500 件数を超えている。JGSS 研究センターが把握している日本語と英語による論文だけでも、健康モジュールを基に約 50 本の研究論文が発表されている。EASS 2020 のデータについても、健康に関して幅広いテーマの分析に活用されることが期待される。

[Acknowledgement]

日本版 General Social Surveys（JGSS）は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2021 は、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 JPMXP0620335833、JSPS 科研費 JP20H00089 の助成を受けて実施した。データの整備は、JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の支援を得た。

[参考文献]

Buysse,D.J., Reynolds,C.F., Monk,T.H., Berman,S.R., and Kupfer,D.J, 1989, The Pittsburgh Sleep Quality Index (PSQI): A new instrument for psychiatric research and practice. Psychiatry Research, 28(2), 193-213.

榎木美樹, 2008,「EASS 2008 Culture Module の作成－JGSS によるプリテストの結果を中心に」『日本版 General Social Surveys 研究論文集』7: 195-232.

埴淵知哉, 2009,「EASS 2010 Health Module の作成 –JGSS によるプリテストの結果を中心に-」『日本版 General Social Surveys 研究論文集』9: 211-242.

International Physical Activity Questionnaire, n.d., Home. Retrieved from https://sites.google.com/site/ theipaq/

Ware, J. E., Jr., Kosinski, M., Turner-Bowker, D. M., and Gandek, B., 2002, How to score version 2 of the SF-12® health survey (with a supplement documenting version 1). Lincoln, RI: Quality Metric Incorporated.

b 票（青色）

（第 1225 号）2021 年 1 月
〔JGSS-2021 留置調査票 b 票〕

Japanese General Social Surveys JGSS
文部科学大臣認定
日本版総合的社会調査共同研究拠点
大阪商業大学 JGSS 研究センター

「第 13 回 生活と意識についての国際比較調査」
「健康と暮らしについての調査」

（調査企画）日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター
（調査協力）京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎
（調査実施）一般社団法人 中 央 調 査 社

（Q31～37 までは次のライセンス契約の上で使用しています） SF-12v2™ Health Survey © 2009 by QualityMetric Incorporated and Shunichi Fukuhara. All rights reserved. SF-12® is a trademark of Medical Outcomes Trust. (SF-12v2 Standard, Japanese Version 2.0)

［JGSS-2021 B票から関連部分を抜粋］

ここからは、心身の健康についておうかがいします。

Q31 あなたの健康状態は、いかがですか。

1	2	3	4	5
最高に良い	とても良い	良 い	あまり良くない	良くない

Q32 以下の質問は、日常よく行なわれている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をすることがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

	とても むずかしい	少 し むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
A 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど	1	2	3
B 階段を数階上までのぼる	1	2	3

Q33 過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	1	2	3	4	5
B 仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった	1	2	3	4	5

Q34 過去１カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
A 仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった	1	2	3	4	5
B 仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった	1	2	3	4	5

Q35 過去１カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
ぜんぜん 妨げられなかった	わずかに 妨げられた	少 し 妨げられた	かなり 妨げられた	非常に 妨げられた

Q36 次にあげるのは、過去１カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
A おちついていて、おだやかな気分でしたか	1	2	3	4	5
B 活力（エネルギー）にあふれていましたか	1	2	3	4	5
C おちこんで、ゆううつな気分でしたか	1	2	3	4	5

Q37 過去１カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

1	2	3	4	5
いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない

Q38 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

	強く賛成	どちらかといえば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえば反対	強く反対
A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない	1	2	3	4	5
B 私が目指している目標は達成できないだろう	1	2	3	4	5

Q39-1 あなたは、慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。

1 はい → **Q39-2** それはどのような病気または問題ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 高血圧
2 糖尿病
3 脂質異常症（コレステロールが高い、中性脂肪が高いなど）
4 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
5 癌
6 肝疾患
7 腎臓疾患
8 精神疾患
9 心血管疾患（心筋梗塞、狭心症など）
10 筋骨格系疾患（関節炎、腰痛、膝痛、関節痛、リウマチなど）
11 呼吸器疾患（ぜんそく、肺気腫など）
12 消化器疾患（潰瘍など）
13 その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿）

2 いいえ

Q40-1 あなたの視力についておうかがいします。あなたは近視ですか。

1 はい → **Q40-2** 普段、メガネやコンタクトレンズを着用していますか。 1 はい 2 いいえ

2 いいえ

Q41 あなたの身長を教えてください。

□□□ センチメートル

Q42 あなたの体重を教えてください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください）。

□□□ キログラム

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。

Q43 あなたは煙草（加熱式タバコなどを含む）を吸いますか。

1	2	3
現在吸っている	以前は吸っていたがやめた	ほとんど／まったく吸ったことはない

Q44 あなたは、どのくらいの頻度でお酒（アルコール含有飲料）を飲みますか。

1	2	3	4	5
毎日	週に数回	月に数回	年に数回以下	まったく飲まない

Q45 あなたは以下のことを、まわりの人から「やりすぎだ」と注意されたことがありますか。

A 飲酒	1 はい	2 いいえ
B 喫煙	1 はい	2 いいえ
C ギャンブル（パチンコを含む）	1 はい	2 いいえ
D テレビゲーム/ネットゲーム（携帯などもすべて含む）	1 はい	2 いいえ

Q46 平日に歩いている時間は合計でどのくらいですか。「歩く」とは、職場や自宅での日常生活、別の場所への移動、気晴らし、運動、レジャー、散歩やウォーキングなどをすべて含みます。

1	2	3	4	5
15分未満	15～29分	30～59分	60～89分	90分以上

Q47 平均的な１週間では、少し息がはずむような身体活動をどのくらい行いますか。家事、子どもと遊ぶ、荷物の運搬、仕事、ジョギング、水泳、自転車、その他の運動などを含みます。歩行やウォーキングは含めないでください。

0	していない	4	約１時間	8	約５時間
1	15分未満	5	約２時間	9	約６時間以上
2	15～29分	6	約３時間		
3	30～59分	7	約４時間		

Q48 平日に座っている時間はどのくらいですか。机に向かって何かをしたり、横になってテレビを見ている時間をすべて含みます。

□□ 時間 □□ 分

Q49 平日の実際の睡眠時間はどのくらいですか。（寝床の中にいる時間ではなく、睡眠時間のみ）

□□ 時間 □□ 分

Q50 過去１カ月間において、ご自分の睡眠の質を全体として、どのように評価しますか。

1	2	3	4
非常に良い	良 い	悪 い	非常に悪い

Q51 過去３年の間に、あなたは健康診断を受けましたか。

1	2	3
定期的に受けた	不定期に受けた	受けていない

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

Q52 過去１年間に、あなたはどのくらいの頻度で、医師の診断を受けましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください）。

1	2	3	4	5	6
週に数回以上	週に１回程度	月に１回程度	年に数回	年に１回程度	まったくない

Q53-1 過去１年間に、病気やケガにもかかわらず、医師の診断を受けることを控えたことがありますか。風邪や虫歯の場合も含めてお答えください。

1	2	3
控えた ことがある	控えた ことはない	過去１年間に病気・ケガ はしていない

Q53-2 それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 待ち時間が長い
2 費用がかかる
3 病院が近くにない
4 どの病院に行ったらよいかわからない
5 交通手段がない
6 病院に行くのは好きではない
7 忙しくて時間がない
8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
9 保険が使えない
10 新型コロナウイルスに感染したくない
11 その他（具体的に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Q54 あなたは、どのような医療保険に入っていますか。

1	2	3	4	5
公的医療保険のみ	公的医療保険と民間の医療保険	民間の医療保険のみ	医療保険には入っていない	わからない

Q55 ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

	非常に不安	やや不安	あまり不安はない	まったく不安はない
A 必要なときに医療を受けられない	1	2	3	4
B 深刻な病気にかかったときに医療費を払えない	1	2	3	4

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q56 あらためておたずねしますが、あなたの健康状態は、いかがですか。

1	2	3	4	5
最高に良い	とても良い	良 い	普 通	良くない

Q57 日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。

	とても感じている	ある程度感じている	あまり感じていない	まったく感じていない
A 時間的なゆとり	1	2	3	4
B 心のゆとり	1	2	3	4
C 孤独感	1	2	3	4

Q58 あなたは、次のことをどのくらい行なっていますか。

	ほぼ毎日	週に数回	週に１回程度	月に１回程度	年に数回	まったくしない
A 温泉・銭湯・サウナに行く	1	2	3	4	5	6
B マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	1	2	3	4	5	6
C 自然の中で過ごす（森林浴、海・川などへ行く）	1	2	3	4	5	6
D ペットと過ごす	1	2	3	4	5	6
E 体操（ヨガ、ストレッチ、ピラティスなど）をする	1	2	3	4	5	6
F 音楽を聴く・歌をうたう	1	2	3	4	5	6

Q59 過去１年間に、あなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

A 鍼（はり）	1 はい	2 いいえ
B 灸（きゅう）	1 はい	2 いいえ
C 漢方薬	1 はい	2 いいえ
D 指圧・マッサージ	1 はい	2 いいえ

Q60 あなたは過去１年間に、インフルエンザの予防接種を受けましたか。

1	2
はい	いいえ

Q61 あなたは、ご自分の生活を楽しんでいると思いますか。

1 はい　2 いいえ　3 どちらともいえない

Q62 「健康」について考えるとき、次のそれぞれのことはどのくらい重要だと思いますか。

	非常に重要	重要	ある程度重要	重要ではない
A 身体の痛みがないこと	1	2	3	4
B 心のやすらぎがあること	1	2	3	4
C 家庭内の役割を果たせること	1	2	3	4
D 職場や社会での役割を果たせること	1	2	3	4

Q63-1 あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。
（あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください）

1 いる → Q63-2 へ　2 いない → Q64 へ

Q63-2 あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。

1 はい　2 いいえ

Q64 あなたは次の意見について、どう思いますか。

	強く賛成	賛成	どちらともいえない	反対	強く反対
A 年をとるにつれて、自分で自分のことができなくなるのが心配だ	1	2	3	4	5
B 年をとるにつれて、自分のことを他の人に決めてもらわなくてはならなくなるのが心配だ	1	2	3	4	5
C 年をとるにつれて、他の人に経済的に依存しなくてはならなくなることは、大きな不安だ	1	2	3	4	5

ここからは、新型コロナウイルスに関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q65 今日の日付をご記入ください。　　月　　日

Q66 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染することについてどの程度不安を感じますか。

1 とても不安　2 ある程度不安　3 少し不安　4 まったく不安ではない

Q67 あなたは、ご自身が新型コロナウイルスに感染する可能性はどのくらいあると考えますか。

大いに有りうる　1 2 3 4 5 6 7　ほとんど有りえない

Q68 感染症拡大への対策について、政府は何を優先するべきだとお考えですか。以下の事柄について、あてはまる数字に○をつけてください。

A 感染拡大防止と経済活動

感染拡大防止を優先することが重要　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10　経済活動を優先することが重要

B 個人の行動の追跡（モニタリング）とプライバシーの尊重

個人の行動を追跡（モニタリング）することが重要　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10　プライバシーを尊重することが重要

C 政府が国境を封鎖することは重要である

とても重要　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10　まったく重要ではない

D 政府が移動を制限することは重要である

とても重要　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10　まったく重要ではない

Q69 新型コロナウイルスをめぐる、現在の政府の対応について、あなたはどの程度評価しますか。

1 大いに評価する　2 ある程度評価する　3 あまり評価しない　4 まったく評価しない

Q70 あなたは、新型コロナウイルスに感染した人は、本人の責任だと思いますか。

1 そう思う　2 どちらかといえばそう思う　3 どちらかといえばそう思わない　4 そう思わない

Q71 あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまったら、ご自身の責任だと思いますか。

1 そう思う　2 どちらかといえばそう思う　3 どちらかといえばそう思わない　4 そう思わない

ここからは、人付き合いやお住まいの地域の環境についておうかがいします。

Q72-1　過去１年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

